

# 林 大 の 風

第8号

高知県立林業大学校

## 第27回山師達人選手権 健闘！準優勝！

10月20日（日）に馬路村魚梁瀬で開催された第27回山師達人選手権。県内外の35チーム約140人が参加し、本校からは9チーム31人が参加しました。

1種目は木挽き競争。普段練習していたものよりは一回り大きい丸太に少し動揺していた研修生達でしたが、制限時間内に5チームが切り終えるという奮闘をみせました。この時点で、林大選抜チームともいえる「林業大学校A」は全体の5位。この先の展開ではまだまだ優勝も狙えます。



▶木挽き競争で悶絶する基礎課程の研修生

2種目は鞍馬競争。ここでも「林業大学校A」は全体の4位に付け、本校初となる予選突破がいよいよ現実味を帯びてきました。

3種目は杉の実取り競争。今年は全員が登り切れたチームが3チームと、例年に比べて少なかったのですが、この種目で「林業大学校A」は1位となる1分7秒39の記録を残しました。



▶様々な登り方を披露した女性チームの皆様

## 全体2位で予選突破

予選1位は「ウサギ組」、2位「林業大学校A」、3位「とされいほくB」、4位「とされいほくC」となり本校史上初の予選突破となりました。

決勝の木挽き達人競争では、直径50cmを超える丸太の元口と末口を3人で交代しながら挽いていく競技で、チームワークに加えてとにかく根気が重要となる競技です。

競技開始から5分を超えたあたりで苦悶の表情を浮かべながらも鋸を引き続ける研修生でしたが、この種目の結果は2位。1位ウサギ組との差は埋められないまま、最終競技へと臨みました。

泣いても笑っても最後となる杉達人競技。杉の実取り競争で使用した立木を目標に対して伐倒し、その正確さを競いました。

1番目と2番目に伐倒した「とされいほく」チームが目標から数センチという好成績でプレッシャーのかかる中、最後の伐倒となった「林業大学校A」は目標から69センチと、実力差を見せつけられる形となりました。

全ての競技を終え結果は準優勝。優勝は地元馬路村の強豪チーム「ウサギ組」でした。



▶表彰状を手に記念撮影する「林業大学校A」チーム

この大会を通して本校の研修生達の結束は一段と高まったように思います。また、プロの技術力の高さや、馬路村の林業に対する思いなど、研修生皆それぞれが感じるが多かったのではないのでしょうか。

「来年こそは優勝！」

本校の熱血教官山口先生は来年に向けてすでに闘志を燃やしております。

主催者の皆様、本当にありがとうございました。